

個別事業費	5,032 千円
交付金額	3,410 千円

地域の実情と課題

【地域の実情】

沖縄県は一人当たりの県民所得が全国最低水準であり、ひとり親家庭出現率は全国1位という厳しい状況にある。特に母子家庭は、母親の就労による収入が男性より低い状況もあり、生活困窮に陥りやすいという課題があり、本町では、経済的支援や就労のための支援を行っている。

【課題】

令和3年度に行った町民意識調査では、職場における男女の差として、賃金・昇進・昇格や人事配置を挙げる声が比較的高くなっており、女性が仕事を辞めずに働き続けるために必要なこととしては、労働時間の短縮や休日の増加など働きやすい労働環境を挙げる声が高くなっていることから、女性の活躍推進、多様な働き方や生活の安定と自立の支援が求められていると考える。

目的・目標

【目的】

女性の活躍推進、多様な働き方や生活の安定と自立の支援を目的に、柔軟な働き方が可能で、市場価値の高いデジタル人材の育成を行う。

	目標・KPI	目標値	実績	
事業目標	就労支援	70%	100%	20人/20人
事業KPI	講座受講完了	70%	90%	18人/20人

事業の特徴

一貫した支援

デジタル人材育成と就労支援(デジタル分野で懸念されている、実務経験を積むための、実践の場の提供やキャリア支援等)を一貫して実施

連携団体

プロポーザルで選定した民間企業

事業の効果

女性デジタル人材の増加、所得向上、女性の多様な働き方への環境の提供をすることができた。

(受講参加者:20人)
講座受講完了数:18人
キャリア相談者数:20人
(起業)就労:2人、転職:2人

今後の課題

- 希望する様々な働き方やデジタルスキル等にあわせた就労先とマッチングできるように就労支援の方法を考えていく必要がある。
- 短期間で就労する意思のある受講生を選定できるような説明会の方法、周知方法を検討する必要がある。

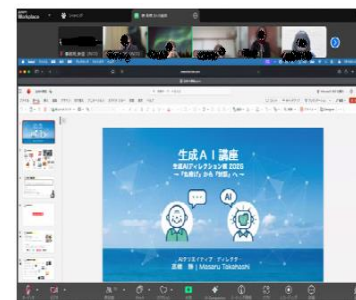
事業の概要

事業内容

貧困や生活上の困難に直面する女性や、家事育児等で働き方に制約がある女性を優先に、市場価値が高く、柔軟な働き方が期待できる、デジタル分野のスキル習得のためのデジタル人材育成を実施。また、全プログラム終了後に、キャリアサポート、就労体験(実務経験を積むための、実践の場の提供等)も行うことで、教育から就労まで一貫した支援を行う。

プログラム

期間	内容
8月下旬	スタートアップセミナー(オンライン) ・受講前説明会、交流会
9月-2月	講座等 ・ミニクイズ(週3回)、ソーシャルラーニング ・実践で使うAI講座 ・デザイン思考講座
11月-12月下旬	映像クリエイター研修 ・実地研修プログラム及び成果発表
1月	インターンシッププログラム ・事前テスト ・案件参画
随時 (9月-2月)	キャリアサポート ・個別面談 ・職務経歴書サポート、転職・起業相談

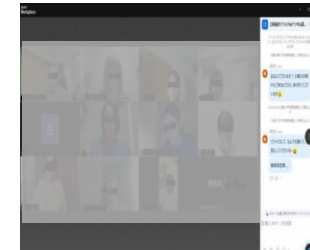


受講の様子

その他

フォローアップクイズ・コミュニティ形成

離脱防止や学習意欲維持の対策として、フォローアップクイズの開催や、オンライン交流会を開催し、受講生・講師がコミュニケーションをとりやすい環境を提供



フォローアップクイズ・コミュニティ